

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【公表番号】特表2009-538437(P2009-538437A)

【公表日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2008-552884(P2008-552884)

【国際特許分類】

G 10 L 13/02 (2006.01)

G 10 L 13/00 (2006.01)

【F I】

G 10 L 13/02 110C

G 10 L 13/00 100R

G 10 L 13/00 100S

G 10 L 13/00 100Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年7月27日(2012.7.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

図8および9は、音声選択のプロセスに関するさらなる詳細を提供する。図8は、ユーザ・インターフェースの状態81および現在の位置83、ならびにこれらに関係する様々な音声を識別する参照用テーブルである。プロセスが開始されたとき、現在の位置、直前の位置、および状態が識別される。プロセスが開始すると、状態は、前に述べたように、ジョイスティックの中立位置である5に等しくなる。ジョイスティックを移動した場合、新しい現在の位置が作成される95ことになり、その現在の位置が、同一であるかどうか調べるために、直前の位置と比較される。現在の位置と直前の位置が同一ではない場合で、現在の位置が5に等しい場合は、その音声に対応する音が作られ107、またその音声はメモリに記憶される。その後、状態は5となる(参照番号111)。現在の位置が5に等しくない場合、システムは、直前の位置が5に等しいかどうかを尋ねて、yesである場合、現在の位置は状態に等しく103、その状態または現在の位置に対応する音が作られる105。直前の位置が5ではない場合、その状態に対応する音が出力される105。

【誤訳訂正2】

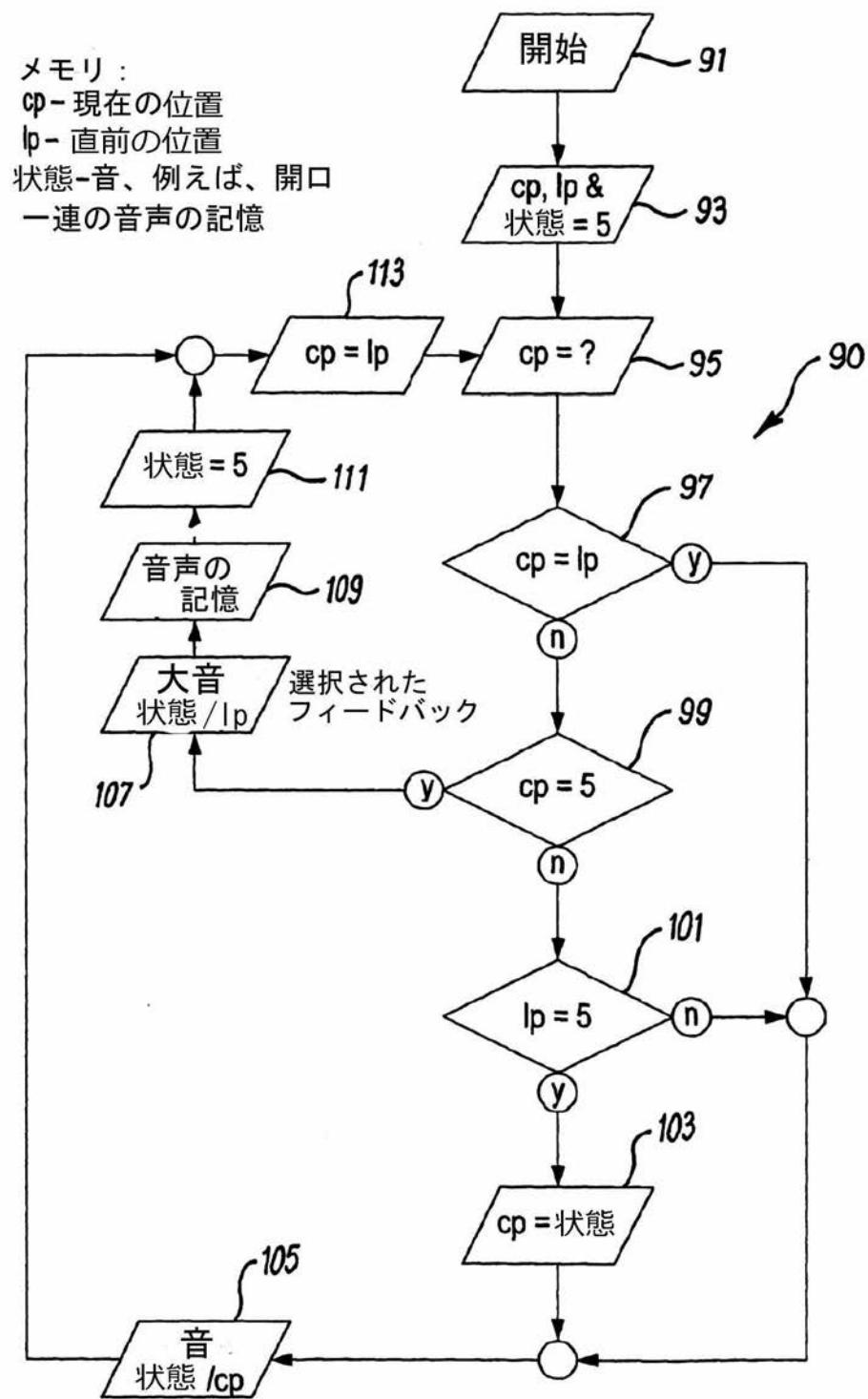
【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】図9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図9】



経験者のユーザでは省略可  
(フィードバックの選択)

**Fig. 9**